

「ヨセフ、エジプトを治める」

2021年06月18日

「あなたは宮廷を治める者となる。民は皆、あなたの言葉に従うであろう。ただ王座にあるということにおいてのみ、私はあなたにまさっている。」(創世記 41 章 40 節)

ヨセフはエジプトの地で七年の間に食料をすべて集め、それぞれの町の食料とした。町の周囲の畑にできた食料を、その町の中に蓄えさせたのである。(創世記 41 章 48 節)

諸国の人々はエジプトに向かい、穀物を買いにヨセフのところにやって来た。全地で飢饉が激しかったからである。(創世記 41 章 57 節)

ヨセフの夢解きと提案を聞いて、ファラオは家臣に、「このように神の霊が宿っている人をほかに見つけられるだろうか」と言い、ヨセフの提言がファラオと家臣に快く受け入れられた。そして、ファラオは次のように厳命した。神があなたに全てを知らされたということは、あなたのように聡明で知恵ある者は他にいない。あなたが宮廷を治める者になり、民は皆、あなたの言葉に従う。私は王座にあるということにおいてのみ、あなたに勝っている、と。ファラオはまた、「私はあなたにエジプト全土を治めさせる」と言い、指から印章の指輪を外し、ヨセフの指にはめた。また、上質の亜麻布の衣服を着せ、金の首飾りを首にかけた。自分の第二の車に乗せると、人々はヨセフの前で、「ひざまずけ」と叫んだ。更に、「私はファラオである。あなたの許しなしには、このエジプトで、誰も手足を上げることはできない」と、ヨセフをエジプトの宰相とし、全土を治める全権を託した。ファラオはヨセフの名を「ツァフェナト・パネア」とした。「ツァフェナト・パネア」は「神が語るのだから彼は生きる」という意味で、ヨセフの人生は神とその言葉に基づくものであることを示している。彼は祭司ポティ・フェラの娘アセナトを妻とし、エジプト全土に知れ渡った。この時、彼は 30 歳であった。17 歳の時、兄弟たちからエジプトに奴隷として売られて、13 年の年月が経っている。主人ポテファルの家の全てを任されるまでに信頼を得るために、どれほどの苦労があっただろうか。主人の妻からの誘惑を拒んだため、無実の罪を着せられ、投獄された。献酌官釈放の夢解きをしたが、忘れられて、2 年の獄中生活を強いられた。この間の苦労は並大抵ではなかったが、神が共におられ、夢解きの能力がエジプトの宰相にさせたのである。豊作の 7 年間、豊かな実りをもたらし、ヨセフはエジプト全土を巡回し、豊作の 7 年間に食料の全てを集め、町の中に蓄えさせた。海辺の砂ほど多くの穀物を蓄え、量りきれないほどになり、量ることを止めた。

飢饉がやって来る前に、ヨセフに二人の息子が生まれた。長男を「マナセ」と名付けた。マナセは「忘れさせる」という意味で、長男の誕生はエジプトでの苦労と父の家のことを忘れさせる喜びであった。次男を「エフライム」と名付けた。エフライムは「(果実)を増やす」という意味である。次男が誕生した頃に、ヨセフはエジプトで苦難を乗り越えて、子孫を増やしていただく時を迎えていたのである。

7 年の豊作の年が終わり、飢饉の 7 年が始まった。飢饉は全ての国々に及んだが、エジプトには食物が豊富にあった。やがてエジプトにも、他の国々にも飢饉が広がり、人々はファラオに食物を求めて、叫んだ。ファラオは全てのエジプト人に、「ヨセフのもとに行け。彼が言うとおりにせよ」と言った。ヨセフは穀倉を開いて、エジプト人に穀物を買ったが、飢饉はますます激しくなっていた。諸国の人々も飢饉に見舞われ、エジプトに向かい、穀物を買いにヨセフのところに押し寄せて来た。